

海津市まちづくり委員会「第3回安全・安心まちづくり検討分科会」会議録

開催年月日	平成23年1月21日(金)		
開催場所	海津総合福祉会館 ひまわり 「研修室2」		
分科会委員定数	17名		
開 会	午後1時30分		
閉 会	午後3時30分		
出席者	○分科会委員		
	公募市民	大 倉 金 次	
	公募市民	白 井 春 幸	
	南濃北部地区防犯パトロール隊長	藤 田 良 博	
	海津地区防犯協会副会長	牧 野 光 子	
	海津地区交通安全協会会長	堀 田 行 雄	
	海津市自治連合会代表	宮 脇 信 幸	
	海津市社会福祉協議会	水 谷 英 基	
	海津市更生保護女性会代表	中 島 雅 子	
	高須生活学校代表	加 藤 佳余子	
	総務課	伊 藤 裕 紀	
	学校教育課	吉 田 太	
	福祉総務課	高 橋 豊	
	予防課	加 賀 誠	
	海津警察署 生活安全課 生活安全係長	山 口 好 史	
	岐阜経済大学教授	鈴 木 誠	
	○事務局 企画政策課 課長	中 島 哲 之	
	〃 係長	後 藤 政 樹	
	〃 主任	毛 利 卓 司	
欠 席 者	NPO 法人 海津おやじの会	樋 口 幸 二	
	NPO 法人 セーフティサポートコミュニティ平田	丹 羽 公 成	

会議次第

1. あいさつ
2. 海津市における自主防犯活動について
 - ①犯罪が起こりやすい場所(危ない場所)や安全な場所について地図上に表示
 - ②自主防犯活動の場所を地図上に表示
 - ③今後の取り組み内容や方法について
 - ④発表
3. その他
4. 講評
5. 閉会

会議録（要約）

事務局	みなさんこんにちは。 これより、海津市まちづくり委員会「第3回安全・安心まちづくり検討分科会」を開催させていただきます。 会に先立ちまして、宮脇会長より一言ご挨拶をお願いします。
会長	（会長あいさつ）
事務局	ありがとうございました。 それでは、早速、2. グループワークに入りたいと思います。 前回、ガラス破壊体験の関係で時間がなくなりましたが本日、地域安全マップを作成して頂きます。 「地域安全マップ」とは、犯罪が起こりやすい場所（犯罪に弱い場所）を表示した地図であります。 マップづくりは、子どもの犯罪被害防止能力を高める手法として注目されており、大人の犯罪被害防止に役立っております。 この防犯マップ作りを通じ、防犯意識を高める効果があると言われてい ます。 本来であれば、本日のマップづくりでも、実際に現場へ出て調査するべきところではありますが、時間の関係上、現場へはいかず、前回の会議でもお願いしたところではありますが、委員の方々において、防犯パトロールなどの活動を通じて、気付いたことや犯罪の起こりやすそうな場所を図面に落として頂きたいと思います。 なお、使用して頂きます図面は、各グループ、机の上においてあります「岐阜県警察犯罪発生マップ」を使用します。 この「犯罪発生マップ」は、岐阜県警察において身近で発生している犯罪の認知状況を地図上にわかりやすく表示することで、県民に犯罪の現状を知っていただき、各地域の防犯パトロール活動や自主防犯対策の強化などに役立てていただくことを目的として作られている地図であります。 なお、この犯罪発生マップは、昨年、1月から9月21日までの累計が色分けされています。この地図をもとに、グループごとに意見を出しながら作業をして頂き、最後に発表をして頂く予定しております。 作業に入っていただく前に、お手元の「子どもと街を犯罪から守る 地域安全マップをつくろう！」をご覧いただきたいと思います。 この資料では、犯罪が起こりやすい場所について、説明がなされていますので、簡単に紹介をさせていただきます。 （資料 説明）

Aグループ	それでは、作業に入って頂きたいと思います。 簡単に流れを説明します。 まずはじめに、①犯罪が起こりやすい場所(危ない場所)や安全な場所について地図上に表示して頂きます。 危険箇所は赤（丸シール）を、安全箇所は青（丸シール）を貼っていただきます。なお、貼って頂いたシールの場所が、なぜ「危ないのか」「安全」なのかを付箋等を使い説明を入れてください。 次に、②自主防犯活動の場所を地図上に表示して頂きます。委員の方々が防犯活動（パトロール）をしている所を地図上にマーク（シールを貼るまたは囲み）などして、地図上にマークして頂きます。 次に、当初次第では、③今後の取り組み内容や方法についてを予定としておりましたが、先ほど鈴木先生とも相談させて頂き、①と②の作業を踏まえ、次回、実際に現場を見ていただいたくこととしました。 そこで、各グループで視察する場所を2、3ヶ所選んでおいて下さい。 次回、視察後に本日の作業を踏まえ、犯罪発生箇所と自主防犯活動グループの活動場所との検証、また、犯罪を減らすためにはどのように環境を改善すればよいか、自主防犯活動の課題と展開を考えていただく予定とさせていただきます 最後に、視察場所も含め各グループ発表をして頂きます。 それでは、各グループ作業をお願いします。 なお、各作業の時間配分は、その都度お知らせします。 （グループワーク） グループワークは以上とします。 それでは、グループ発表をお願いします。 【Aグループ】 普段の生活圏の中で、一人ひとりが危険ではないか、あるいは聞いたことがあるとか過去の事例がありませんでしたが、振り返りながら危ない箇所とか具体的に、海津、平田、南濃でそれぞれあげてみました。 まず、海津地区の赤いところは田んぼの区域です。ここでは不審者、変質者があったところで、ここ1年間に2・3回あったところです。 ここの部分は、見晴らしはいいけれども危険ではないかと。 養老鉄道の無人駅が危険であると。 昨年の秋に、未遂でおわりましたが誘拐まで発展しかけた事案がありました。また、南濃の雇用促進住宅が廃止されたことからその箇所。ちなみに平田町にもありますが。 それから神社。どこもそうなんです、気をつけていないと危ないと。 平田町では、仏師川ですがトンネルがあります。トンネルの部分が狙われるポイントかもしれないと。 あと、今尾橋の下とか、南濃庁舎の歩道があり、そこは落書きがあります。
-------	---

	そのほか、青い部分で囲った部分は、スクールサポーターが登下校の時間帯に常に子どもたちの安全のために活動して頂けるエリアではありますが、それ以外の部分は死角になってきます。 また、人が多くて賑わしい道の駅とかは午後 6 時 30 分以降は人が少なくなり危険になってくるとか、庭田から多度に抜ける庭田山頂公園までが危ない。過去にも放火事案があったことも知りました。 この地図を作成する中で、次回視察する場所は、人が多い繁華街であるおちょぼさん周辺の平田公園。ここは夜になると不審車両が多いです。 次に、南濃庁舎付近の歩道。あとは空き住宅がある雇用促進住宅。以上です。 【B グループ】
B グループ	海津・平田・南濃とそれぞれ検討してみました。 まず、南濃ですが、私は下多度小学校下でパトロールをしています。 夜間、防犯等がないところとか休日の学校校内が犯罪が起こりやすい場所ではないかと。また、商店街や有人駅である駒野駅、無人駅では自転車を盗む泥棒が増えていると。雇用促進住宅も空き家があるため危ない。 また、南濃南部の量販店やその周辺が空き巣に入りやすい。 パトロールしている箇所をマークしてあります。 海津では、人通りが多い場所とか田畑、また木曽三川公園のあたりが危ない。次に平田では、道の駅とか平田公園、おちょぼさん周辺等が犯罪が起こりやすい。 気がついたのは、民家の間に防犯等が無いところでした。 現地視察ということで、無人駅周辺とかおちょぼさん周辺でした。
事 務 局	ありがとうございました。 それでは、ここで 2 グループの発表を受けまして、海津警察署 山口係長様から最新の犯罪状況などを紹介して頂きたいと思います。 山口係長様よろしくお願いします。
山 口 係 長	さすが今、地域を熟知しておられます方々ばかりの集まりですのでほぼ合っています。 まず、第 1 に今年の発生からみますと、ダントツで千代保稲荷でのスリ、若干お店も入られているようですが、忍び込みとスリが多発しています。 この時期は毎年、千代保稲荷が多いです。 日頃から、千代保稲荷は出店荒らしとか被害がでていますが、海津市といえば千代保稲荷です。 第 2 にご指摘のとおり無人駅です。駅では自転車盗とか女性に対する声掛け。未遂事案で未届出で事件にはなっておりませんが、そういう事案もありました。また、少年グループが溜まりやすい場所として駅があります。 第 3 に海津温泉での車上狙いです。 車上狙いが海津市では昨年、一番多く発生しております。

海津温泉の車上狙いですが、これについては被疑者を検挙しましたので、捕まえてからパタット止まりましたが、海津温泉は狙われやすい所であります。

あと、木曽三川公園にあります自販機狙いです。これも無人ですから多発しました。

また、南濃の雇用促進住宅ですが、一時期少年が入り込んだということもありましたが、これも未届けでしたたが、そういった事案が1・2回ありました。

いずれにしましても、浮浪者とか少年とが入り込むという危険性もありますのでその着目点はいいかと思います。

次に、お手元にあります「市町村別の主な刑法犯の認知件数（平成22年11月末）があるかと思いますが、11月末ですので海津警察署で暫定的であります。12月分を紹介します。

昨年、刑法犯として海津警察署管内で387件。平成21年中は532件でマイナス145件ということで犯罪抑止数として県下でも上位とも言われています。

参考までに窃盗犯ですが、昨年309件、平成21年中は443件ですのでマイナス134件となっています。

いずれにしても、窃盗犯が減りましたから傾向をみますと刑法犯の総数も比例して減ってきていることがわかります。

次に、交番別にいきますと、一番多かったのは所在地交番（所在地ブロック）です。所在地といいますのは、ほぼ海津町全般ですが、東江・大江を除いたところですが、この地域が80件です。2番手に海西地区を除いた平田町ですが、72件。

3番手に太田駐在所の管轄で64件。太田の南部が多いです。

次に窃盗犯についてですが、車上狙いが64件、自転車盗は30件。

車上狙いが最も多いのが南濃交番管内で17件。

海津警察署では、車上狙いを重点取り締まりとしています。

昨年をみますと、多発場所として海津温泉（13件）、犯行時間帯は午後から夕方にかけて多い。次に月見の森の駐車場です。これも決まって深夜帯に3件起きています。深夜車をとめておいて、夜間、人目につきにくいということです。

次に意外なのが、南濃体育館で3件発生しています。午後7時から午後9時の間です。ここでは、100万近い金額がとられています。

次に、市民プールで2件発生しています。

以上4ヶ所が狙われやすい場所です。

通り魔的な同時発生といいまして、1日の間に6件・7件もやられたのが5ヶ所ありました。これは、県外から入って来て犯行をしていくと予見するものですが、駒野の住宅地、商店街で6件ありました。

また、平田町の勝賀の住宅地で4件。海津町の福一色の住宅地で4件、大和田で3件。犯行時間帯は深夜。人が寝静まった時間帯に通り魔的に起こっています。

そのほか、量販店、飲食店とかポツポツとやられています。

	また、教育施設（小学校）ですが、午後7時から午後9時頃になりますが、行事やイベントがあって保護者の方々が学校に行かれて、車を止めておく時間帯に発生していると思います。5ヶ所発生しています。 目につく所においてありますから、無施錠、施錠にかかわらず、犯人は叩き破ってでも取っていく。置くなら、目のつきにくい場所をお願いします。 最後になりますが、今年に入って車上狙いが1件にとどまっています。 また、1月入ってポツポツと単発ですが忍び込み、空き巣狙いが発生しています。 今後、会合の時などに皆さんに啓発などをして頂きたいと思います。 以上です。
事 務 局	ありがとうございました。 次回、実際に現場に出向き、解決方法などを議論して頂く予定であります。 グループの発表では、1つのグループは平田公園、南濃庁舎前の歩道、南濃の空き住宅、2つ目のグループは無人駅、千代保稲荷神社ということであります。 以上、5ヶ所を現地視察して頂く予定であります。 現場視察後、皆さんで話し合いを持ちたいと思っております。 本日、予定しておりました③今後の取り組み内容や方法については、次回とさせていただきます。 ここで、グループの発表と海津警察署 山口係長の犯罪状況の報告を受けまして、鈴木先生より講評を頂きたいと思います。 鈴木先生お願いします。
鈴木教授	今日は、ご苦労さまでした。 本当は、本日の作業は前回の防犯ガラスの後にして頂く予定をしておりましたが、時間の関係で本日となりました。 なお、実際にガラスを扱っている専門業者がガラスの特性とか弱い部分、そのほか強い部分とか非常に分かりやすく説明を頂いたと思っております。 実際にガラスを扱っている専門業者が、これはやめた方がいい、こうした方がいいと指導されるのはあまり実はない事だと思います。私もいろいろと実証実験をしておりますが、質のいい説明だったと思います。 今日は、海津警察署 山口係長の説明で尽きるんだと思います。 犯罪の発生箇所についての確認作業というのは、私みたいにコミュニティ施策という分野あるいは地域の産業施策をやる者にとっても非常に重要なテーマになっております。 これを中小企業の関係者の方々や学生は勿論ですが、地域の防犯ボランティアの皆さんと一緒に地域に出て実際に一つ一つ確認をしていく。 今回のように市全体となると難しいかと思いますが、いくつかエリアを絞ったりとか、悉皆（しっかい）調査といって一軒一軒回りながらお年寄りの意見を聞きながら特定のエリアについてモデル調査をする。 今日の話を聞いて、海津警察署 山口係長の資料を見て、はたと気がついたことがあります。

海津市は県内の21市において、16番目の刑法犯の認知件数（11月末現在）かと思います。決して多くはないかと思います。その中で、郡上市、下呂市、海津市が同様に車上狙いが多いと。これには、何か共通点があるのではないかとお考えになられましたか。

やはりどこも交流人口が非常に多い市となっています。つまり、観光施設があり車でお越しになり、広い駐車場に止めて目的を達成されている。その間に車上狙いにあってしまうのではないかと。

その駐車場も、主として車を置いて監視の目が行き届かない、監視カメラもないのではないかと思いますけれども。そういう所で、車上狙いが多く、しかも比較的、午後から夕方・夜にかけて車を長く置いておくという共通点があるかもしれません。

やはり、共通点があるところは3つの市でみうけられるかと感じました。

今日の話の中で、海津市特有のものというのは今の点と、市街化調整区域によって田んぼであるとかビニールハウスが多くて、たとえば、ビニールハウスの間で危険に会うとか話がありました。

私の経験値ですが、神社とかあって神社とか手入れをしていないと鎮守の森である社の裏とか案外、危険にあうと聞いております。

やはり、エリアの特性もあるのかとも感じています。

今日の地図を使った作業というのは、実際にとても重要なことで、犯罪の分布図でだいたいこういう多いエリアが出てくるわけです。

それを、皆さんの目で見て、実際にそういうエリアとかぶさっている所で感じられる部分があるかと思いますが、そうじゃない部分もあるかと思います。

重なっている所と重なっていない所があるわけですが、その辺の違いを把握するということと、皆さんが実際に日頃、防犯パトロール活動をしているエリアあるいは線とこのような犯罪の分布図はたいがい一致するかと思いますが、感じ取っている危険個所と皆さんのパトロール活動のエリアと意外と重なっていないことがあります。

我々、市民（住民）という立場で、これから実際にパトロール活動をするという時には、警察が日頃からパトロールもされて地域の防犯活動も比較的熱心な街頭犯罪多発地区と同時にそういうところではない所、何となく嫌な所、よく皆さんが嫌な人がよく出るねというところも、これから防犯パトロールのエリアあるいは線として取り上げて、住民らしいきめ細かな防犯活動を行うことが大事であると思います。

そういうことをボランティアとして一人でやるのもいいですが、本日ご参加いただいている団体の代表の方々、この手法とか知ったことを、それぞれの団体、あるいは市民団体へ持っていかれて、そして他の人とのつながり（支えあい）活動を通じて、この成果を具体的に実践していくことが大事かと思います。

先ほど、委員さんの中から海津市も人口が減り高齢化していく現実があるわけですが、去年の今頃、NHKが「無縁社会」という特集番組をやりました。

	人と人とのつながりが希薄になって、振り込み詐欺は犯罪なのですが、むしろそれを歓迎するくらい、人との会話あるいは呼びかけを待つ人たちが多くなっている現実があるということです。 これは決していいことではないのですが、犯罪にあったとしても声をかけて、やさしい言葉をかけて、一緒にいい時間を作ってくれて、悪いとは分かっている自分でも自分を頼りにしてくれる事に対しありがたいと思う心持をする人たちの人口数が増えてきています。 それを間違っているということ言うだけではなく、間違っているということを知り入れてもらえるように、呼びかけ・声掛けをして、こういう現実があるということを知っていただき、一緒に散歩をしながら見守り活動をしていないかという呼びかけをすとか、また、あるいは、草がボウボウとなっている、あるいは、ゴミに関して一人暮らしでは手入れがされていないと思いますので、一緒に庭作業をすとか、そういうことに呼びかけをして、身近な家の中、あるいは回りといった所から人とのつながりを作ってだんだんと、こういったエリアに関心を持って頂いて、犯罪に巻き込まれない層を作るということも、支えあい社会づくりの上でとても重要です。そういうことに関しても今日の取り組みだったと思います。 今日は、海津警察署の山口係長から具体的にお話をして頂きましたが、これはとても参考になると思いますので、是非それぞれの団体に持ち帰って頂き、本日やったこの技法を運用をされ、必要な資材等に関しては市の方によって頂くと言ってもらえると協力して頂けると思いますので、地域の支えあい、見守り活動に役立てて頂けたらと思います。 以上です。
事務局	ありがとうございました。 今回は、現場を視察して頂き、その後意見交換会を行って頂く予定であります。 なお、日程につきましては3月4日、午後1時30分からを予定しておりますがよろしかったでしょうか。 (異議なし)
事務局	それでは、次回は3月4日ということでよろしくお願ひします。 以上をもちまして「第3回安全・安心まちづくり検討分科会」を閉じさせていただきます。 本日は、ありがとうございました。